

俳句

良夜

木々朗

荒塩やきしきしと触れ秋なすび
天塩の渋味含みし衣被
魚河岸や旬の秋鯖ぶつ切りに
名月や螺旋階段昇りゆく
垣つゞき草伸びつくし良夜かな

雑詠
蝉

細田 安治

防災の日 過ぎて涼しく 蝉鳴かず
緑陰に さわやか合唱 蝉時雨
油蝉 ジイジイ イライラ まだ暑い
蝉合唱 命の燃え尽く 25度
抜け殻に わずかな命 痛ましや
オーシンと ツクツクの声 秋の入り

